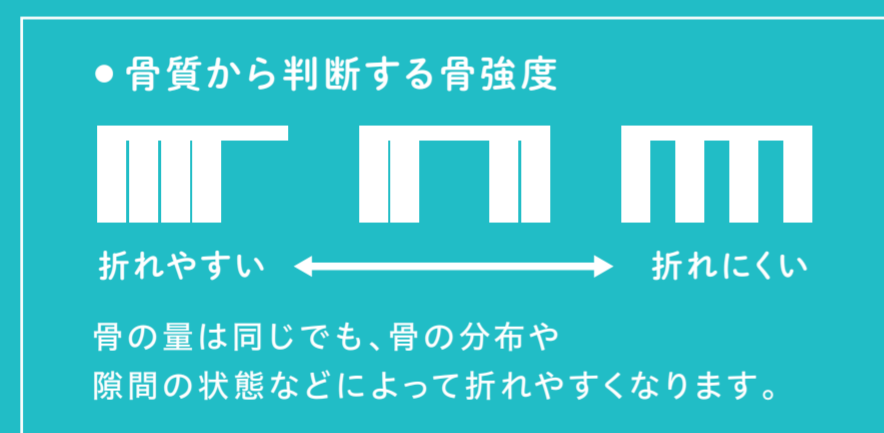


骨密度が同じなのに、 なぜか骨が折れやすい人がいます。

「骨質」に注目！

日本における骨粗鬆症の患者さんは、
高齢化の進展にともない、1280万人*と推定されています。
骨の健康状態を知る指標として「骨密度」はよく知られていますが、
骨の強さは骨密度(70%)と骨質(30%)により規定されます。
骨質はさらに材質と構造に分類され、TBSは構造を評価する指標です。
TBSは骨密度とは独立した危険因子とされています。
当院では、骨密度測定装置で撮影した画像情報から、
簡単に「骨質」の状態が分かるソフトウェアを導入しています。
骨折リスクを事前に回避するために、
「骨密度」+「骨質」の検査をお勧めします。

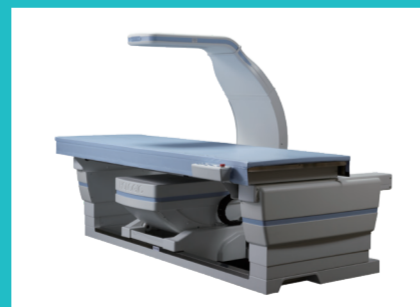
※骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版参照



骨の丈夫さを知るために、 ぜひ、骨密度+骨質検査を！

HOLOGIC 社製 X線骨密度測定装置

骨密度を測定する装置です。
米国ホロジック社製の装置で正確な測定が行えます。



骨密度

骨に含まれるカルシウムなど、単位面積当たりの骨の量のこと。
BMDとも呼ばれます。

medimaps 社製 TBS-iNsight

骨質を解析するソフトウェアです。新たに骨質のための検査をする必要はなく、骨密度測定装置の測定データを利用して評価できます。



骨質

骨の微細構造、骨の代謝、微小骨折の有無、石灰化の状態などのこと。

監修: 社会医療法人 札幌清田整形外科病院 院長 片平 弦一郎先生